**介護状況評価判断基準等**

在宅サービスについて

支給限度額とは

　要介護１～５の利用上限単位数の平均をいう。

（16,765＋19,705＋27,048＋30,938＋36,217）÷５＝26,134単位

　平均の６割＝26,134単位×0.6＝15,680.4単位

　平均の４割＝26,134単位×0.4＝10,453.6単位

　平均の２割＝26,134単位×0.2＝ 5,226.8単位

＊直近３か月分のサービス利用票及びサービス利用票別表により確認する。（在宅サービスの利用ない月も含む）

＊限度額を超えての自費利用とは、直近３か月の在宅サービス利用において、３か月とも各要介護度に応じた支給限度額を超えてサービスを利用している場合をいう。

＊在宅介護（生活）期間とは、入所希望者が初めて要介護度１～５に認定されたときの有効期間の開始日から調査日までの在宅生活期間をいう。

　　在宅介護（生活）期間

|  |  |
| --- | --- |
| ３年以上 | ７点 |
| ２年以上３年未満 | ６点 |
| １年以上２年未満 | ５点 |
| １年未満 | ４点 |

サービスに対する本人・家族の意向

＊現在のサービス利用・今後の希望や改善等に対する意見など（直接配点には影響しない）

施設等入所・入院中の方

＊在宅介護（生活）期間とは、入所希望者が初めて要介護度１～５に認定されたときの有効期間の開始日から継続して施設等へ入所（入院）している期間における入所（入院）日までの在宅生活期間をいう。

　在宅介護（生活）期間

|  |  |
| --- | --- |
| ２年以上 | ３点 |
| １年以上２年未満 | ２点 |
| ６か月以上１年未満 | １点 |

＊現在の施設等に入所・入院してからの経過期間とは、調査時に在籍している施設等の直近の入所・入院日から調査日までの日数をいう。

　現施設等での経過期間

|  |  |
| --- | --- |
| １年以上 | ４点 |
| ６か月以上１年未満 | ３点 |
| ６か月未満 | ２点 |

＊全継続する施設等に入所・入院している期間とは、現在滞在中の施設等も含め、継続して施設等に入所・入院している期間の合計をいう。途中、在宅生活へ戻った場合には、入所・入院期間は継続されていないものとする。

　全継続する施設等の入所・入院期間

|  |  |
| --- | --- |
| ３年以上 | ３点 |
| ２年以上３年未満 | ２点 |
| ６か月以上２年未満 | １点 |

在宅生活に対する本人・家族の意向

＊在宅生活を希望している場合で、それが困難な理由など（直接配点には影響しない）

本人の状況

基本情報評価を補完する指標であり、介護の困難性を考慮するものである。

介護老人福祉施設のサービス利用が必要な理由・視点（検討委員会での裁量評点）

①麻痺や拘縮などの介護を要する負担の度合いの高い状況

②認知症等に伴う問題行動により介護や見守りを要する負担の度合いの高い状況

③医療器具の使用や看護を要する疾患があり、特に注意を要する状況

＊ただし、介護老人福祉施設での生活（対応）が可能な場合を前提とする。

介護者の状況

基本情報評価を補完する指標であり、介護者の身体・精神的介護負担を考慮するものである。

介護老人福祉施設のサービス利用が必要な理由・視点（検討委員会での裁量評点）

①身体的介護量の負担（具体的に）

②精神的介護負担（具体的に）

その他特に留意すべきこと

介護老人福祉施設のサービス利用が必要な理由・視点（検討委員会での裁量評点）

①経済的問題（費用負担が問題となり、必要十分な在宅サービスが利用できない・入院費等が払えない）

②本人と主たる介護者との関係が良好でない

③その他特別な事情（施設の個別基準など）